

# 公共施設駐車場センシング情報利活用実証実験(高蔵寺スマートシティ推進検討会)

## ■都市課題

### ニュータウン内拠点の利活用促進

- ・拠点周辺の駐車場待機交通の削減
- ・施設の利用者満足度の向上

### ニュータウン地区内の移動

- ・公共交通衰退の懸念
- ⇒利用促進、移動選択肢の増加が必要

## ■解決方策

### 拠点の利便性向上に向けた駐車場の活用

- ・センシングによる駐車場マネジメント、データ活用
- 交通サービスのベストミックスによる

### 公共交通サービス共創

- ・駐車場センシングと次世代公共交通との連携による駐車場利用のスマート化

## ■KPI

### ホームページアクセス

(駐車場情報のダイナミックマップとの連携及び利用者へのオープン化を想定)

### 公共交通利用者数

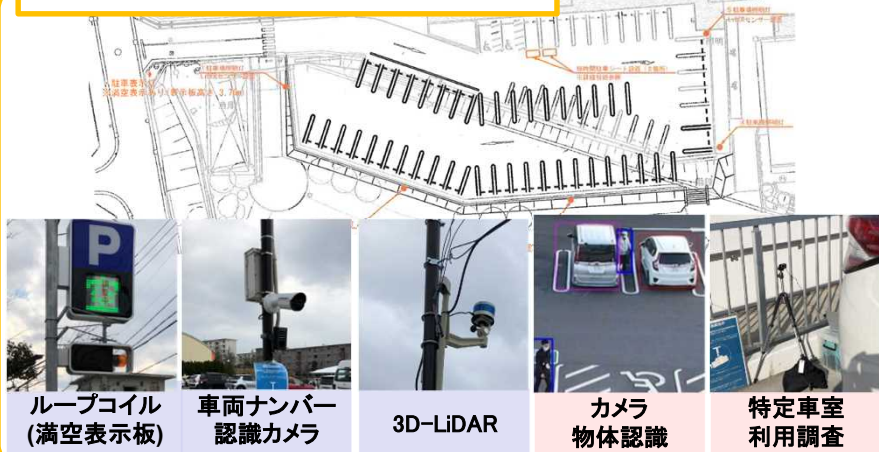
### 移動の選択肢数

## ■実証実験の概要・目的

地域拠点の無料駐車場において、カメラや3D-LiDARによる利用状況のセンシング、情報提供による駐車場マネジメントを行う事で、利用者の利便性向上と周辺交通の最適化を目指すとともに、今後の自動運転車両との連携も含めたスマートな駐車場利活用方法を検討する

## ■実証実験の内容

### 各種センシング技術の精度検証など



- ・情報提供による施設周辺の駐車場待機交通の削減効果、利用者満足度などの把握(アンケート調査)
- ・自動運転サービスや交通社会ダイナミックマップ(DM)との連携可能性の検討



## ■実証実験で得られた成果・知見

<成果・知見> センシング技術の特性把握、利用者満足度向上につながる運用、自動運転サービス等との連携検討

- ・駐車場満空情報提供により約7割、一方通行化により約6割が、以前より駐車場利用満足度が向上
- ・車室単位での利用状況把握、駐車場内の人・自転車の認識可能性を検討(3D-LiDARとカメラ物体認識)
- ・短時間優先車室のニーズと利用実態の把握



<課題> センシング技術の特性を踏まえた組合せ方法の検討、行政施策と連動した導入費用の確保

## ■今後の予定

- ・車室単位の利用状況の情報提供方法(交通社会DMとの連携)や特定利用対応、自動運転サービスとの連携可能性の検討